

令和3年度事業計画書

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

社会福祉法人 こぼと会

こぼと第一保育園

こばと第一保育園令和3年度事業計画

保育園周辺の都営多摩ニュータウン諏訪団地解体工事は、令和2年3月上旬に始まり8月上旬に終了して様変わりしました。新型コロナウイルス感染症の影響や地域のこともあり、4月入所児童が0歳児クラスは7名です。保育士の退職に伴い、新規採用が常勤、非常勤ともに難しい現状になっています。

駅から離れていても入園させたい魅力のある保育園となれるように「私たちの使命」に基づき、職員が自分の役割を全うしていけるようにさらに意識して努力していかなければと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響で、外部の研修参加が難しい状況ですが、園内研修で「環境評価スケール」を取り入れて保育の目線合わせをしていく機会を増やしたいと思っています。また法人内で行っている人事考課の中で主任、副主任が成長シートを基に職員面談を行い、ひとり一人の職員と向き合うことでお互いの成長につなげ、実際の保育にも活かしていきたいと思っています。職員、補助職員が相互理解を深めていくなかで一つのチームとなってクラス運営をしていけるように、今まで通りの方針に基づき安定した運営が今年度もできるようにしていきたいと思っています。地域ルームは火、水は保育園で、木曜日はリバティカフェの2階で地域活動を行い。ハーモニーカフェとリバティカフェの活動は連携して行なっていきたいと思っています。

◎ 今年度認可定員

| | 0才 | 1才 | 2才 | 3才 | 4才 | 5才 | 合計 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 支給認定 | 3号認定 | 3号認定 | 3号認定 | 2号認定 | 2号認定 | 2号認定 | |
| 認可定員 | 14名 | 30名 | 36名 | 39名 | 39名 | 41名 | 199名 |

◎ 職員配置

| 年齢 | クラス名 | 定員 | 職員配置 | | |
|-------|--------|-------------|------|----|-----|
| 0才 | ポピー | 14名 (7名) | 竹川 | 須藤 | |
| | | | | | |
| 1才 | つくし | 15名 | 嶋根 | 小塩 | 塩島 |
| | れんげ | 15名 | 柿木 | 山口 | 横山 |
| 2才 | チューリップ | 18名 | 白井 | 沼畑 | |
| | マーガレット | 18名 | 村田 | 兵動 | 横山ち |
| 3, 4才 | もも | 26名 | 加藤 | 熊谷 | |
| | ゆり | 26名 | 岡田 | 佐藤 | |
| | ばら | 26名 | 横倉 | 山田 | |
| 5才 | カンナ | 18名 | 駒橋 | | |
| | コスモス | 18名 | 河瀬 | | |
| 一時保育 | たんぽぽ | 10名 | 川合 | 石川 | |

◎ 私たちの使命

1 子どもに対しての責任

私たちの責任は、ひとりひとりの子どもがイキイキわくわくして生きていけるよう安心できる環境を整え根拠と愛情をもった保育育成をすることです。

2 保護者に対しての責任

私たちの責任は、保護者の思いを受け留め、子育てする喜びを一緒に見つ信頼関係を築き専門性ある支援をすることです。

3 職員に対しての責任

私たちの責任は、謙虚な姿勢で自分自身を見つめ、向上心を持って、お互いイキイキとしたチームになれるよう努力することです。

4 地域に対しての責任

私たちの責任は、地域の一員として 保育・育成を通じて人々のつながりを深め地域社会のイキイキわくわくに貢献することです。

保育の基本方針

法人理念に基づいた行動がすなわち保育の基本姿勢である。「子どものために」をスローガンに謙虚に自分自身を洞察し、「知る」喜びを通して成長し合える職員関係を築くことが重要となる。

そのためにも、主観ではなく客観性を下にした根拠ある考えを中心に据え例えば若い職員であれば、わからないことを具体的に質問したり、リーダー層であれば、相手のわかる喜びを引き出すためのヒントを出したりと、お互いが切磋琢磨できるための環境づくりに努力し、それが子どもの最善の利益に結びつくようにしていく。これが基本方針である。

◎0歳～2歳半までの保育

- ・担当制をとることにより人間形成にとって一番大切な愛着関係を深め健康で安定した生活を確立していく。
- ・子どもの脳や身体の成長変化の一番大きい時期である。それぞれの成長の特徴を理解した上で、個別の配慮を第一にしながら、将来を見通した援助を心がける。
- ・子どもの内発的な動機を刺激するよう絶えず環境を見直し、安全性に配慮しながらもチャレンジできる遊具、用具を多く取り入れる。
- ・家庭との連携を密にし、24時間の生活リズムを考慮した対応を心がける。

◎2歳半～5歳までの保育

- ・言語の発達とともに多様な人間関係を通してコミュニケーションの土台を作る室内、戸外での心躍らせるような体験が子どもの自己実現を後押しできるよう工夫を重ね、小集団での仲間づくりの達成感を味わえるよう配慮する。
- ・3、4歳児は混合保育とする。縦の関係を取り入れることで、一つの年齢の数を

少なくすることにより、子どもの育ちの保証を保育者がしっかりと担うことが可能となる。また、あこがれとともに期待に胸を膨らませつつもじっとその時期を待つ状況を作ることにより、この時期に発達する抑制力に強く働きかけるようにする。

- ・3歳ころから記憶を司る海馬の発達がとても活性化する時期と言われている。お話やメモリーゲームなど覚えて楽しめる遊びを多く用意し記憶を刺激するとともにゲームを活かしたルールの標準化を図っていく。

◎5歳児以降の保育

- ・5歳を過ぎた子どもたちは、自然と学びの態勢が出来上がってくる。また、過去から未来への時間的概念が育つことにより、子ども同士の共有性が一気に開くようになる。集団もだんだん大きくなり行事などの目標を持ちながら所属感を強くし、育ち合いの気持ちが整ってくる。こういったことを念頭に子ども同士で話し合う経験を多く持ち、協調と共同の姿勢を作るような保育を心がける。

- ・就学に向けて子どもの期待を膨らませながら、個々の課題を確認し競い合う楽しみや周りの友達をいたわる経験を多く積むようにする。

◎個別的配慮を必要とする子どものために・・・

- ・個人差を受け入れるために、その原因を追究するとともに、個人ベースでの配慮点を職員間で共有できるベースを作り上げることに専念する。

- ・感覚統合視点や行動科学的な視点を取り入れ、子どもの立場に立った援助を職員で共有化し、仮説、実践、評価を繰り返しながら少しでも効果的な保育を追求していく。

子ども自身が達成感を得られるような配慮を一番大切なポイントとし保育に当たる。

2 職員の待遇

◎職員構成

| 職種 | 人数 | 職種 | 人数 |
|-------|----|--------|----|
| 理事長 | 1 | 調理員 | 3 |
| 園長 | 1 | 事務 | 1 |
| 主任保育士 | 1 | 用務 | 1 |
| 保育士 | 20 | パート保育士 | 18 |
| 看護師 | 1 | パート職員 | 15 |
| 栄養士 | 1 | | |

◎多摩市民共済に加入

- ・健康診断補助金
- ・慶弔給付
- ・自己啓発補助

◎労災保険

◎労災上乗せ保険

◎厚生年金

◎健康保険

◎退職金(東社協・福祉医療機構)

児童・職員健康管理、事故予防予定表

| | 児 童 | 予算額 | 職 員 | 事故予防 | 予算額 |
|-----|---------------------|------------------------|------------------|-------------|----------------------------|
| 4月 | 全園児健診 | | | | |
| | 既往歴表作成・確認 | | | | |
| | 体についての話(年長) | | | | |
| 5月 | 血についての話(年長) | | 職員定期健康診断 | | (@10,500 × 39) 409,500 |
| | | | | 救護法指導受講 | (@1200 × 39) 46,800 |
| 6月 | 歯科検診 | (@44537 × 2) 89,074 | | I期安全マップ確認 | |
| | 歯磨きについての話(年長) | | | | |
| | プール指導 | | | | |
| 7月 | プール指導 | | | | |
| 8月 | プール指導 | | | 重大事故予防チェック | |
| 9月 | プール指導 | | | II期安全マップ確認 | |
| 10月 | 全園児健診 | | ストレスチェック | | |
| | 視力検査 | | 産業医巡視 | | |
| | 年長児就学時健診 | | | | |
| 11月 | 手洗い指導 | | インフルエンザ予防接種 半額補助 | | 70,000 |
| | | | 産業医巡視 | | |
| | | | 給食室担当者のノロウイルス検査 | | (@2500 × 7) 17,500 |
| 12月 | 聴力検査 | | 給食室担当者のノロウイルス検査 | | (@2500 × 7) 17,500 |
| | | | 感染予防点検 | III期安全マップ確認 | |
| 1月 | ブラッシング指導 (年少・年中) | | 産業医巡視 | | |
| | | | 給食室担当者のノロウイルス検査 | | (@2500 × 7) 17,500 |
| 2月 | | | 給食室担当者のノロウイルス検査 | | (@2500 × 7) 17,500 |
| 3月 | | | | IV期安全マップ確認 | |
| 定期 | (毎 月) | | (毎 月) | (毎 月) | |
| | 布団乾燥 | (@140 × 347) | 給食及び調乳担当者の腸内細菌検査 | | (@305 × 15) 4,575 × 12ヶ |
| | 身長体重測定 | | | 安全点検 | |
| | 年長児への健康教育 | | | | |
| | 0歳児定期健康診断 | | | | |

◎ 健康管理

- 健康診断.....年1回(健診所にて)
- 腸内細菌検査.....調乳担当、調理担当職員(月1回)
- ノロウイルス検査...調理担当者(11月~2月)
- ストレスチェック...年1回(高ストレス者が必要時は産業医面談)
- インフルエンザ予防接種・年1回(11月)

保健年間計画（職員用）留意点

| | |
|-----|--|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ● 慣れるまで十分な睡眠を摂り、生活リズムを整えるように働きかける。(緊張からの食欲減退、心身不安定、怪我 e t c) ● 手洗いをしっかりする。 ● コロナ対策を徹底する。 ● クラス別に罹患歴表・喘息・肘内障・痙攣・食物アレルギー時の対応を把握する。 |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none"> ● 外遊びから帰っての汗の始末、着替えを指導する。 ● 食前・外遊び後の手洗いの励行。 ● 片付けの習慣をつけることで、清潔感を養う。 |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ● 歯の大切さを知り(歯科検診、年長ブラッシング指導)、年長・年中では食後の歯みがき、年少児は食後のうがいを励行する。 ● 救護法を学び、クラス毎に誤食時の動きや痙攣時の動きなどを確認する。 ● 外気温が 25℃を超える日は、保健マニュアル「症状に対する対応」内の「4.熱中症」に準じて熱中症に注意する。エアコンの温度設定に気をつける(床に気温計を置き、18~20℃になるよう設定する)。 ● 光化学スモック発令時は外遊びを控える。 ● 下痢・嘔吐・腹痛等の発生状況を把握する。 ● プール開きにあたり、心疾患・川崎病の子が入れるか確認。皮膚・眼疾患(水イボ・とびひ・眼の充血・眼脂・鼻汁)の治療を勧める。 |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ● プールのない晴れている日は、水遊びやシャワーを浴びる。 ● クラス毎に、重大事故予防が出来ているかチェックする。 |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ● 汗をかいたら細目に洋服を替える。特に乳児は、水分補給を頻回にし、脱水に気をつける。 |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ● 疲れが出やすい時期であり、外遊びも久し振りなので、子どもを含め再度ルールの確認をして、事故防止に努める。 |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ● 正しい姿勢を促し、書く時・読書する時など目を近づけないようにする。目の大切さを知らせる。(視力検査) |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ● 日中天气の良い日は外で遊び、体力をつける。 ● 気温差があるので、衣服で調節する。 ● 手洗いをしっかりと学び、感染予防に努める(手洗い指導)。 |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ● 火気の危険を知らせる。火傷発症時の応急手当の方法を覚える。 ● 感染性胃腸炎が流行しないよう手洗いや正しい消毒法を再確認して、予防に努める。 ● 耳の大切さを知らせる(聴力検査)。 ● 感染症予防が出来ているかチェックする。 |
| 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ● 手洗い・うがいの励行。 ● 暖房器による外との気温差に気をつける。 |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ● 寒くなると姿勢が悪くなりがちなので、背筋を伸ばして過ごせるように働きかける。 |
| 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ● 後ろから呼んでも答えない、耳によく手を持っていくなどの行為に気をつける。 |

健康目標(園児用)

| | 健康目標 | 生活上の留意点 | 活動 |
|-----|--|---|--|
| 4月 | 規則正しい生活を送りましょう | 毎日朝食を食べましょう。早寝早起きをして十分な睡眠をとる。朝うんちが出る習慣をつける。 | 《行事》 歯科検診……6月 全園児 ブラッシング指導…6月 年長 視力検査…10月 幼児クラス 手洗い指導…11月 幼児クラス 聴力検査…12月 年中児 年長児 打聴健診…4月・10月 全園児 《毎月行うこと》 ・0歳児健康診断 ・身体測定 ・布団乾燥 《健康活動》 ・裸足の保育 ・薄着の励行 ・毎身体操 ・戸外遊びの際、帽子着用 ・戸外遊びから帰ったら、手洗いの励行 《けんこうノート》 諸検査の記入 ☆おうちでも生活上の健康管理にご協力下さい。 |
| 5月 | 体を清潔に保ちましょう | 下着を毎日取り替える。健康な時はお風呂に入る。汗をかいたら直ぐ拭く。手洗い習慣をつける。 | |
| 6月 | 歯を大切にしましょう | 嫌いな食べ物が減るように心がける。寝る前に甘いものは食べない。ジュースを飲み過ぎない。むし歯が出来たら、直ぐ治す。 | |
| 7月 | 夏の伝染病を防ぎましょう | プールの前に水いぼや中耳炎など、悪いところは治しておく。毎日お風呂に入る。お腹を冷やさない。きちんと爪を切る。耳掃除をする。水いぼやとびひなど湿疹に注意する。 | |
| 8月 | 暑さに負けず元気に遊びましょう | エアコンの温度に注意する。戸外に出る時は帽子をかぶる。水分補給をする。 | |
| 9月 | 生活の調整に心掛け、夏の疲れを取りましょう | 生活リズムを整える。適度な運動と休息をとる。蛋白質・ビタミンを多く摂り、食欲を維持する。事故防止に気をつける。 | |
| 10月 | 目を大切にしましょう | 汚れた手で目をこすらない。長い時間テレビを見たり、ゲームをしない。ハンカチやタオルを常備する。前髪が目にかからないようにする。 | |
| 11月 | 冬に備えて身体を鍛えましょう 手洗いをしっかりして冬の感染症を防ぎましょう | 薄着の習慣をつける。何でも良く食べる。手洗いを励行する。 | |
| 12月 | やけどに注意しましょう | 暖房器具の周りでふざけない。ポットなど熱いものを、子どもの手の届く所に置かない。 | |
| 1月 | 風邪、インフルエンザ、中耳炎、冬季下痢症の予防をしましょう | 換気をこまめにする。湿度を保つ。具合が悪い時は早目に受診する。十分な睡眠・栄養をとる。前日熱が高かったら、翌日は無理せず休養する。中耳炎の既往がある場合には、風邪を引いた時、耳鼻科にも受診する。 | |
| 2月 | 背筋を伸ばして姿勢を良くしましょう | 食事、読書、座っている時に背筋を伸ばす。晴れている日は、外で良く身体を動かす。 | |
| 3月 | 耳を大切にしましょう | 週に一回、耳掃除をして耳垢をとる。汚れた手で耳をいじらない。耳の傍で大声を出したり、耳を叩いたりしない。 | |

年間を通してのコロナ対策

- ・送迎者も含めて朝晩検温をし、けんこうカードへ記載して、登園したらクラスへ提出する。
- ・登園時も玄関にある検温器で検温をしてから入室する。
- ・日中も検温をして、37.5℃以上や平熱より1.0℃以上高い場合は水分補給後暫くして再検温し、高い場合保護者へ連絡する。
- ・園内へ入ったら送迎者は手指消毒をし、園児は手洗いをする。
- ・朝の会や体操、食事などの集団行動は、出来る限り蜜を避ける。
- ・職員も朝晩検温をして、けんこうカードへ記載する。
- ・園内の換気や消毒をして、感染予防をする。
- ・職員は食事中などマスクを外した時は、会話を慎む。咳エチケットにも心掛ける。

園外研修については、内容に合う職員を参加させる。

◎ 職員会議

| | |
|----------|--------|
| 全体会議 | 毎月1回 |
| リーダー会議 | 毎月1回以上 |
| 中堅会議 | 隔月 |
| フレッシュ会議 | 隔月 |
| 情報交換会議 | 随時 |
| 給食会議 | 毎月1回 |
| 保健・衛生・防災 | 毎月1回 |

3 施設事業管理

1 事業関係

- (ア) 経理……福祉会計サービスセンターに依頼
- (イ) 園便り……毎月1回発行
- (ウ) 給食便り……毎月1回発行
- (エ) 保健便り……毎月1回発行

2 事業関係

- ・一時預り事業
- ・定期利用保育事業
- ・保育ママさんとの連携
- ・子育て広場事業
- 地域の親子の交流
- 地域のお年寄りと園児と一緒に昼1
- ・延長保育
- 保育標準時間 18時～20時
- 保育短時間 7時～8時30分・16時30～
- ・障がい児保育

3 備品関係

- 園庭の遊具
- 発生のつど検討し、予算の範囲で決定する。

◎ 栄養管理

給与栄養目標量(令和2年5月設定)

| | 3歳未満児 | 3歳以上児 |
|-----------------|-------|-------|
| エネルギー(kcal) | 480 | 580 |
| たんぱく質(g) | 18 | 20 |
| 脂質(g) | 16 | 18 |
| カルシウム(mg) | 170 | 220 |
| 鉄(mg) | 1.4 | 1.8 |
| ビタミンA(μ g) | 150 | 150 |
| ビタミンB1(mg) | 0.2 | 0.3 |
| ビタミンB2(mg) | 0.2 | 0.3 |
| ビタミンC(mg) | 20 | 20 |
| 食物繊維総量(g) | 4.3 | 5.2 |
| 食塩相当量(g) | 1.8 | 2.0 |

『日本人の食事摂取基準2020年版』より

献立作成上の留意点

- (1) カルシウムや良質のたんぱく質、ミネラルを多く含む和食料理を多く取り入れる。
- (2) 旬・季節感を大切に食材選び・献立作成
- (3) そしゃくの発達を促すため、かみごたえのある食品を多く取り入れる。

調理上の留意点

- (1) 味つけは、素材の味を大切に、味覚を育てるため薄味にする。(うま味・酸味を取り入れ、塩分・糖分の取り過ぎを防ぐ。)
- (2) できる限り手づくりを心がけ、無添加・低添加物のものを選ぶ。
- (3) 適切な衛生管理のもと、食中毒を起こさない。(食材管理・職員の衛生管理)
- (4) 離乳食(0歳児)・乳児食(1～2歳児)・幼児食(3～5歳児)を子どもたちの年齢と発達に合わせた形態に調理する。

- ・ 食物アレルギー児への対応…医師の診断に基づいて対応する。家庭と園の協力・連携を大切に取り組み、誤食を防ぐ。代替食は見た目・味・栄養に考慮して調理する。
- ・ 食育への取り組み…『楽しく食べること』を大切に、お手伝い・食材の観察・クッキングなどをおして旬の食材に触れ、味わう機会を設ける。
- ・ 行事食への取り組み…まめまき・ひなまつり・端午の節句・七夕・もちつきなど日本の食文化を伝承するため行事食を取り入れ、行事を通して季節の移り変わりや日本の伝統食を伝えていく。

〈給食〉食育年間計画

| | 0・1・2歳児 | 3・4・5歳児【旬の食べ物に触れたり、お手伝いを楽しむ。】 |
|-----|---|--|
| 4月 | <p style="text-align: center;">【年間を通じて】</p> <p>・子どもの発達・成長に応じた献立・形態・食具へ配慮し、『楽しく食べる』ための基礎を培う。</p> <p>・旬の食材に触れ、味わう。 …季節の献立を通して …花壇で野菜の栽培を観て、四季の移り変わりを感じる。</p> <div style="text-align: center;">↓</div> | たけのこ(生筍の観察) |
| 5月 | | グリンピース・そらまめ …いろいろな形・種類がある事を伝える。 |
| 6月 | | 3・4歳 夏野菜(なす・きゅうり・トマト) 栄養と特徴・夏野菜の花クイズ |
| 7月 | | |
| 8月 | | 3・4歳 夏野菜(とうもろこし・えだまめ) 5歳・おはしの話 |
| 9月 | | 3・4歳・食べる時の姿勢・よくかんで・三角食べについて 秋に美味しい食べ物について 5歳・食事バランスガイド |
| 10月 | | サンマ(骨付きの魚の食べ方) |
| 11月 | | いろいろなお芋について …いろいろな形・種類がある事を伝える。 |
| 12月 | | 3・4歳・冬に美味しい野菜の話 5歳・おもちつき …鏡餅・もち米・お正月料理について |
| 1月 | | 七草がゆ ・ 春の七草について |
| 2月 | | 3・4歳 豆まき…恵方巻き・大豆や大豆製品について 5歳・リクエストメニューの投票 |
| 3月 | | 5歳・ひなまつり(はまぐり・菜の花)の話 5歳・リクエストメニューの発表 |

旬の食べ物に触れ、味わう。…朝の会またはおやつ後の時間で子どもたちに実際の食材を見せたりしながら伝える。給食で味わい、食べる意欲を引き出していく。

※ 感染症流行の状況により、実施内容・方法は随時見直していく。

令和3年度 行事食等実施計画

<季節を感じられる旬のものを多く取り入れ、子どもたちが楽しみながら食べられるよう配慮する。>

| | 行事 | 行事食 ・ 季節の献立 【 旬の食材 】 |
|------------------------|------------------------------------|---|
| I 期 4・5・6月 | 入園を祝う会 引き渡し訓練 お泊り会 | 入園を祝う会(お祝いの献立) たけのこ御飯 ・ グリンピース御飯 【 新じゃが・スナップエンドウ・あじ・アスパラ 】 |
| II 期 7・8・9月 | プール開き 夏の子ども祭り | 七夕(七夕そうめん) ・ すいか割り 終戦の日(すいとん) 秋の彼岸(おはぎ) 【 夏野菜・枝豆・とうもろこし 】 |
| III 期 10・11・12 月 | 運動会 ハロウィン 芋掘り 子ども会 餅つき | さんま焼き会(さんまの塩焼き) 月見だんご(きびだんご) ・ くり御飯 クリスマスクッキー ・ いちごのショートケーキ 【 かぼちゃ・さつまいも・きのこ類・冬野菜 】 |
| IV 期 1・2・3月 | 節分 ひなまつり 卒園を祝う会 | 七草がゆ ・ 節分(鬼ハンバーグ・恵方巻き) 体の温まる献立(石狩汁 ・ シチューなど) ひなまつり(はまぐりの潮汁・桜餅) 春の彼岸(ぼたもち) 【 冬野菜・菜の花 】 |

※この他、月1回誕生会を行う。お昼・おやつの献立は、子どもの喜ぶメニュー・食べやすいメニューを中心にします。

※3月には年長さんによるリクエスト献立を行う。

(前年度…ハンバーガー・ハヤシライス・鶏の唐揚げ・だいがくいもなど)

※行事食や子どもの様子は写真を撮り、ホームページに掲載したり、貼り出しを行い、保護者に様子を伝える。

| 保育関係 | | |
|------|---|--|
| 4月 | 入園を祝う会 始業式 保護者会 | 40,000 |
| 5月 | こどもの日 防災引き渡し訓練 遠足 保育参観 年長動物園見学 | 43,400 |
| 6月 | 歯科検診 保育参観 お泊り会 | 44,537 100,000 |
| 7月 | プラネタリウム見学 プール開き 保育参観 七夕 夏の子どもまつり | 55,000 |
| 9月 | 保育参観 保護者会 | |
| 10月 | 運動会 さんま焼き会 保育参観 交通公園見学 一日体験入園 動物園見学(年少・年中) | 80,000 20,000 15,000 86,800 |
| 11月 | 年長親子遠足(フォレストビレッジ) 保育参観 芋掘り・芋煮会 音楽鑑賞会 | 200,000 30,000 120,000 |
| 12月 | 餅つき 子ども会 保育参観 | 100,000 |

| 保育関係 | | |
|------|--|-----------------------|
| 1月 | 新年子ども会 保育展 保育参観 | |
| 2月 | 節分 小学6年生同窓会 記念写真撮影 一日体験入園 保育参観 | |
| 3月 | ひなまつり 保護者会 卒園を祝う会 | 70,000 180,000 |

定例行事

誕生会・身体測定・健康診断・避難訓練・布団乾燥・造形指導・お茶の稽古

地域活動

- ◎子育て相談
- ◎一日体験入園
- ◎ボランティア受け入れ
- ◎中学生の職場体験
- ◎子育てサークル
- ◎子育て講座
- ◎保育ママさんとの連携
- ◎子ども食堂「ハーモニー」

職務分担表(常勤)

| 1 | 職種 | 氏名 | 業務内容 |
|----|-------|----------|-------------------|
| 2 | 園長 | 神田 治美 | 園業務の統括 |
| 3 | 主任保育士 | 松下 直子 | 保育士業務の統括 |
| 4 | 保育士 | 竹川 真美子 | ポピー組 クラスリーダー |
| 5 | 〃 | 須藤 美穂 | 〃 |
| 6 | 〃 | 嶋根 みゆき | つくし組担任 クラスリーダー |
| 8 | 〃 | 塩島 なつみ | 〃 |
| 9 | 〃 | 柿木 さやか | れんげ組担任 クラスリーダー |
| 10 | 〃 | 山口 絵里子 | 〃 |
| 11 | 〃 | 横山 知里 | 〃 |
| 12 | 〃 | 白井 礼子 | チューリップ組担任 クラスリーダー |
| 13 | 〃 | 沼畑 真由美 | 〃 |
| 14 | 〃 | 原 美夏 | マーガレット組担任 クラスリーダー |
| 16 | 〃 | 関野 瑞紀 | 〃 |
| 17 | 〃 | 加藤 里子 | もも組担任 クラスリーダー |
| 18 | 〃 | 熊谷 新 | もも組担任 |
| 19 | 〃 | 岡田 岳郎 | ゆり組担任 クラスリーダー |
| 20 | 〃 | 佐藤 聡美 | 〃 |
| 21 | 〃 | 横倉 直子 | ばら組担任 クラスリーダー |
| 22 | 〃 | 山田 雄一 | 〃 |
| 23 | 〃 | 駒橋 綾乃 | カンナ組担任 クラスリーダー |
| 24 | 〃 | 河瀬 由紀 | コスモス組担任 クラスリーダー |
| 25 | 〃 | 山本 メリジャー | 用務 |
| 26 | 看護師 | 石井 御之 | 園全般健康管理 |
| 27 | 栄養士 | 鈴木 彩子 | 栄養管理及び調理 |
| 28 | 調理師 | 阿保 恭子 | 調理 |
| 29 | 〃 | 鈴木 奈津子 | 〃 |
| 30 | 〃 | 田中 美恵子 | 〃 |
| 31 | 事務 | 宮野 容子 | 経理 事務 |
| 32 | 事務 | 田中 まさみ | 事務 |

非常勤勤務分担

| 職種 | 氏名 | 内容 |
|----|---------|----------------------------|
| 1 | 武井 政子 | 0才児保育補助(6h) |
| 2 | 藤森 博子 | 0才児保育補助(午後 月火) |
| 3 | 田中 利恵 | 0才児保育補助(午前) |
| 4 | 小塩 美恵子 | 0才児担任 |
| 5 | 兵動 昭子 | 1才児保育担任 |
| 6 | 内山 綾 | 1才児保育補助(午前) |
| 7 | 中谷 明美 | 1才児保育補助(午後) |
| 8 | 大日向 恵理子 | 1才児保育補助(午前) |
| 9 | 園田 玉輝 | 1才児保育補助(午後) |
| 10 | 天田 小代美 | 2才児保育補助(6h) |
| 11 | 松本 美智子 | 2才児保育補助(午前) |
| 12 | 宇高 都 | 2才児保育補助(午後) |
| 13 | 田中 由起江 | 3, 4才児保育補助(午前) |
| 14 | 杉田 恵子 | 3・4才児保育補助(午後) |
| 15 | 國分 由紀子 | 3, 4才児保育補助(午前) |
| 16 | 岡安 恵子 | 3・4才児保育補助(午後) |
| 17 | 高畑 敏子 | 3・4才児保育補助(午前) |
| 18 | 須賀 美弥子 | 3・4才児保育補助(午後) |
| 19 | 蓼沼 直美 | 5才児保育補助(午前) |
| 21 | 追川 加奈子 | 5才児保育補助(午前) |
| 22 | 川島 麻由美 | 5才児保育補助(午後) |
| 23 | 川合 早紀 | 5才児保育補助(午後) |
| 24 | 石川 慶子 | 一時保育(6h) |
| 25 | 岡添 律子 | 一時保育(午前) |
| 26 | 牧 雅美 | 一時保育(午前) |
| 27 | 白戸 晴美 | 地域ルーム(火水木 午前) 一時保育(火水木 午後) |
| 28 | 野村 桃代 | 地域ルーム(火水木 午前) 一時保育(金 午後) |
| 29 | 小山 君代 | 調理 |
| 30 | 内藤 香代 | 調理 |
| 31 | 佐藤 晶子 | 早番 延長番 |
| 32 | 横山 真理子 | 早番 |
| 33 | 田中 秀実 | 造形指導 |
| 34 | 島田 英美 | 茶道指導 |

| | |
|--|--|
| <p>KeeP</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝返り、うつ伏せ、腹ばい、ずり這い、四つ這いを沢山働きかけ、体幹を育てる遊びを継続して働きかける。(階段やベランダ、戸外、室内でもクッションなどを使って不安定な場所を進むなど) ・ベランダから園庭に出る際の動線の子どもの成長に合わせて変更。(歩行前はベランダ→園庭OK。) ・ABC、感覚統合の活用 ・離乳食を丁寧に進める。(咀嚼の動きを体得できる期間を設ける。すすり飲みを丁寧に見ていく。) ・コットベットやマットでの午睡に慣れる。 ・職員と補助職員の動きを整理する事で、子どもの日課がスムーズに流れるようになった。 | <p>Try</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員、補助職員間で共有する方法を工夫する。 ・仕事内容の確認をする。 ・補助職員の仕事内容を明確にし、伝えていく。 ・記録書類に関して、優先順位を明確にしていく。 ・柵の布を木の板に変更する。 ・ベツドルームの電気を個別につくようにしていく。 ・前後関係を見ながら、子どもたちに関わり掛け、自主性を持たせ伸ばしていく。 |
| <p>Problem</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活時間が整わず、職員間で共有する時間はあるが書類を記録作成する時間が取れない。 ・発達表の項目の追加とおもちゃ表が未完成。 ・扉の見直しをしている途中。昨年度の try にあるように柵の布を板に変更する予定。 ・ベツドルームの電気を個別につくように出来ると、運動コーナーとして使用できる。 | |

K eep

- ① おろす玩具、道具の使い方・提供の仕方・玩具のしまい場所を共有する。
→子どもの成長に合わせてこまめに入れ替えをする。
 - ② 色々な玩具の使い方についてアイデアを出し合い、共有する
 - ③ 体幹を育てる遊びの提供と工夫。
→クラス内で補助職員を含め対称を共有していく。
 - ④ 両クラスでわらべうたを共有しておろしていく。
→月に1、2曲両クラスで同じものをおろしていく。
- ・両クラスの定期的な話し合い、情報交換。日課のすり合わせ。
→月1回、つくし・れんげでの情報交換を行う

T r y

- ・玩具の把握をするために、両クラスにある玩具を整理、把握する。
- ・月1回の話し合いの中で、どんな遊びを下ろしていくか出し合う。
- ・クラス内で遊び(室内・運動)の働きかけ方補助職員含め共有していく。
- ・わらべうたの共有(季節、となえ、メロディー、などに分けて一覧表にする)
- ・子どもの様子(気になる子への対応)やクラス内の課題を把握・共有し意見交換する。
- ・KPTを振り返る時間を持ち、自分たちの取り組み状況を確認していく。
- ・1歳児の定番玩具を写真に撮り、フォルダにまとめる。
- ・手先のおもちゃファイル(浮用)を完成させる。

P roblem

- ・両クラスや他年齢との話し合いの持ち方、時間の作り方。
- ・大人同士が、それぞれのクラスを見学・観察し合う事が難しかった。
→環境スケールを使い、年齢間の保育の把握をしていく。
- ・1才児に必要な定番の玩具の把握&共有し紛失や壊れた物の補充。

K eep

- 文学・わらべうた・室内環境の玩具・体幹を意識した運動遊びなどの年間計画の見直し、振り返り。
- 子どもの様子を日頃から家庭と共有しあう(児童票や、保育参観を通して)
- 職員間(パートも含む)で子ども達の情報共有、児童表(個人計画)の話し合いをする。
- 保護者への対応ノートを使って、記録・伝達(職員間)をする。
- 月案の話し合いなどで、進級に向けて育てたい姿を共有していく。
- 乳児クラスの目標→「体幹を育てる遊び」を取り入れる。
- ABC分析などを使っての話し合い。
- 両クラスの玩具の共有、仕分けを1期にできるといい。

P roblem

- 両クラスの交流を自由に出来るように、秋以降連携を取っていく。
→クラスを溶ち着かせるとの重視する方がよいか？
子供同士の関わりはそれほど見られない。大人が共有のために様子を見る為としてはよい。
- 発達表の配慮点のベースを作っていく(乳児全体で)→できなかつた
• お散歩マップ・発達表・玩具のリスト・体幹表などを未完成のままにせず仕上げる(乳児全体で)
- 両クラスでの話し合いの時間をどうつくっていくか？
(時間のつくり方、月1回はやりたい・・・) 何か始まる前には行い、情報共有はした。
- わらべうたの共有(月1~2個共有する)
- KPTの活用少なかつた。日々意識して活用することが必要。

T ry

- (新人もいる中で) ABC 分析を意識しながら子どもと向き合っていく。(クラスでのストラテジーシートを用いての話し合いを意識的に行っていく。)
- 両クラスの連携 →年齢ノートを作成し、記録に残していく
○月案の共有
○わらべうたの共有
○相手のクラスを見に行く機会を設ける(2か月に1回)
ねらいをしぼって日課の組み方、おもちゃの提供の仕方、生活行為など
○(余裕があれば児童表を通して子ども姿、働きかけ方などを情報交換する)
- 手先のおもちゃファイルを乳児で完成させる。

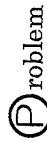
3, 4 歳児クラス (KPT)



- ABC 研修や感覚統合に基づいた対応を取り入れてきた。
- 年齢別の活動をとり入れた (サーキット、散歩等)
- 環境整備…玩具の整理。年齢として必ずおいておきたい玩具のリストアップと購入。(消耗品はその都度購入できるシステム)
- 日々の業務・行事の見直し
- 午後の補助職員さんに 13:30 出勤をお願いして話し合いの時間を作る。



- 発達、日課、計画、活動、玩具表、振り返り等の書式化
- 2才、5才ずり合わせ つながりをもつための話し合いをする
- 幼児年間指導計画・月案の作成・整理・見直し
- 園庭…砂場の玩具の整理・見直し、的当てをつくる
- おはし…頑張り表の見直し (4才が活用できるように)
- スプーンの見直し (持ち方、チューブ)
- 環境スケールの活用方法を具体化して取り組んでいく
- KPT・年間計画表を活用していく
- 月に一度は全員で話し合う (日程を事前に決める)
- KPTについて月案話し合い時に確認し合い、1年を通して意識できるようにする
- 体幹を意識した動画を KOBATUBE で配信する
- アートの作品を乳児クラスの保護者や子どもにも見られるように正面玄関付近に掲示する (作品紹介)。



- 年間計画の見直しが途中になってしまった
- KPT があまり活用しきれなかった
- 年齢別の活動が中途半端で終わってしまった
- 進級までの目標をその都度確認していた為、曖昧だった → 『10 までの姿』を活用していく
- 環境スケールの日程を計画的に取り入れられなかった。
- おはしやスプーンについてはクラスでは見直しが出来たが全体での見直しが出来なかった。
- 書式化 年間計画 わらべうた・文学

• 子どもがイキイキ ワクワク出来るように働きかける…エビデンス ナラティブを取り入れる

(• 健全な自己決定 • 心と身体を動かす • 自己理解をすすめる力 • 共感する力)

5歳児クラス (KPT)

| | |
|--|---|
| <p>K keep</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの困りを担任・保護者で共有し就学に向けた働きかけ（手段や見通し）児童表・保育参観面談や日々の様子を具体的に伝えて共有し、相談場の情報、活用方法を伝えていく。 ・小学校の先生や学童との情報交換、交流（保幼小研修、学校公開を通して） ・毎身体操の継続 体幹を育てる運動を取り入れていく ・お箸の取り組みの共有（頑張り表） ・行事の見直し（簡素化） ・今クラスの共同(4月3月は別) | <p>T try</p> <p>新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭の環境設定 ・砂場の玩具の整理・見直し、的当てをつくる ・かがやきプログラム・『10の姿』の理解、具体化していく ・環境スケールの活用方法を具体化して理解していく ・計画的に取り組めるよう日にちを設定する（話し合いを行う日は、他年齢にクラスの見守りの協力をお願いする。） ・4歳とのスプーン、箸の取り組みの共有 頑張り表の活用法 ・3、4歳との遊び、生活などのつながりをもった保育の見直し、書式化 つながりをもつための話し合いをする ・玩具のつながりと、個の遊びの継続・見直し。 ・定期的に玩具の購入・入れ替え ・月案を見直し立案する ・日々の業務の整理 ・子どもがイキイキわくわくできるように働きかける…エビデンス・ナラティブ取り入れる 健全な自己決定 体と心を動かす 自己理解 共感する力 |
| <p>P roblem</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3・4歳と5歳の情報交換 つながりをもつための話し合いをする ・園庭の使い方 砂場の玩具の整理・見直し、的当てをつくる ・個の遊びの提供 個で行う遊びが少なく3、4歳のように個の遊びを取り入れることができなかった。年令に合った遊びを取り入れる工夫をする ・定期的に玩具の購入・入れ替え ・月案・日課の共有、活用ができるように話し合いをしていく。 ・環境スケールに取り組み機会がなかった。 | |